I-O DATA

PJ-20XGA

取扱説明書

105724-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


分解禁止

修理・改造・分解はしないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。


禁止

通気孔をふさがないでください。

レンズに向かって右側面と、背面にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


厳守

本製品設置の際は、周囲から適当な空間を空けてください。

目安として10㎝以上の空間を空けてください。


禁止

本製品は紙や布などの柔らかいものの上に設置しないでください。

レンズに向かって右側面と、背面にある通気孔に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。


禁止

本製品の近くに燃えやすいものを置かないでください。

火災の原因となることがあります。


禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその周囲の表面や設置台が熱くなります。

やけどの原因になりますので、触らないでください。


禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。

使用中はレンズから大変強い光が発せられます。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。


禁止

リモコンのレーザー光をのぞき込んだり、人の目にあてたりしないでください。

リモコンにはClass 2レーザーが装備されています。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。


禁止

通気孔などに金属類や燃えやすいものを入れないでください。

レンズに向かって右側面と、背面にある通気孔にものを入れないください。火災・感電の原因となります。


厳守

ランプモジュール交換の際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。


禁止

ケーブルの扱いにはご注意ください。

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない


厳守

電源プラグの抜き差しについて

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。


厳守

電源プラグなどの接触不良について

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因になります。


禁止

落下などによる衝撃について

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

本製品（ソフトウェアも含む）は日本国内仕様です。

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。


禁止

本製品は下記のような場所で使用しないでください。

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所


厳守

温度差のある場所への移動について

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。


厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


厳守

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。

漏れた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。


禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。


禁止

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

電源ケーブルについて


厳守

電源ケーブルの取り扱いは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは、濡れた手でコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因となります。


感電注意


発火注意

レーザー光について


禁止

レーザー光は直視しないでください。

レーザー光を直視すると視覚障害の原因となります。

電池について

禁止

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらないでください。

- 電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


電源プラグを抜く

金属など端面への接触について

使用中、金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。


厳守

ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。


厳守

眼精疲労について

映像を見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間、映像を見続けると、眼に疲労が蓄積されます。


厳守

電波障害について

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れる場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別にしてください。


禁止

ランプ冷却のため、排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。

冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。



ランプモジュール交換時および収納時について

使用後は、キャビネット内部が高温になっています。ランプモジュール交換や収納の前には必ず１時間程度放置し、充分に熱をとってください。



ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。

やけどの恐れがあります。



ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が取れてから行ってください。



ランプモジュールを落とさないようご注意ください。

ガラスが散り、けがをする恐れがあります。



ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。



ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。

破損する恐れがあります。



使用環境と収納環境について

温度の高い場所、湿度の高い場所は避けてください。



指定の電池以外は使用しないでください。

- 指定の電池（単４型乾電池）以外は使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、本製品の故障の原因となります。



電池の極性を間違えないでください。

電池には＋極と－極があります。取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。本製品の故障の原因となります。



電池を使いきったときや、長時間使用しない時は取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがなどの原因となります。

お取り扱い

プロジェクタの設置場所

- 風通しの良い所に設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、レンズに向かって右側面と、背面にある通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所に設置してください。
  直射日光のあたる場所や、ストーブのような熱器具の近くに設置すると、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっておりません。故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。
- 設置場所の強度をご確認の上、安全に設置してください。

お手入れのために

- レンズが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- レンズ以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- レンズに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

ランプ寿命

本製品に使用しているランプモジュールには寿命があります。（約2,000時間）
ランプモジュールの交換時期は、画面上に警告メッセージを表示してお知らせします。新しい専用のランプモジュールへの交換を行ってください。（74ページ参照）ランプモジュール交換後は「調整/設定メニュー」でリセット作業（37ページ参照）を行う必要があります。

※ ランプモジュールは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

※ 上記ランプモジュールの寿命は、あくまでも目安です。多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他

- ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- レンズの周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。レンズが破損するおそれがあります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
- 本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。送付先については84ページを参照してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お読みになる前に

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95の総称
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98および Windows 95の総称

もくじ

安全上のご注意 i
お読みになる前に xi
もくじ xii

はじめに

特徴 2
箱の中には 3
実行用ディスクを作ろう 5

接続しよう

各部の名称と機能 8
接続する 14

らくらく操作でフル活用

電源をオン/オフ 20
レーザーポインタとリモコンでのマウス操作 22
ズームイン/アウト 24

調整と設定

投影の高さ・サイズ・フォーカス 26
調整/設定メニューの操作方法 29
調整/設定メニューでできること 30
調整/設定メニューの詳細 31

サポートソフトを活用する

Windows XPの場合 40
Windows 2000の場合 48
Windows Me/98の場合 56
Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 60
Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 63

ふろく

困ったときには 70
ランプモジュールの交換 74
リモコンに電池をセット 77
用語解説 78
ハードウェア仕様 79

お問い合わせ先 81
サポートセンター 81
サポートソフトのバージョンアップ 82
修理について 83

はじめに

箱を開けてから、作業に取り掛かるまでの準備を行います。

特徴 **2**ページ

本製品の特徴について説明します。

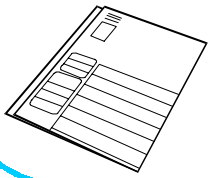
箱の中には **3**ページ

本製品内にどんな物が入っているか確認します。

実行用ディスクを作ろう **5**ページ

サポートソフトのバックアップディスクを作成します。

ユーザー登録をしよう



登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

特徴

2000ANSI ルーメン

明るい場所でも見やすい投影を実現しています。

最大300インチの投影画面サイズ

本体の調整や投影距離の調整で、22インチから305インチまで投影できます。

シングルチップDLP™方式

DLP技術により、鮮明で明るく自然な投影が可能です。

台形補正機能（キーストーン補正機能）を搭載

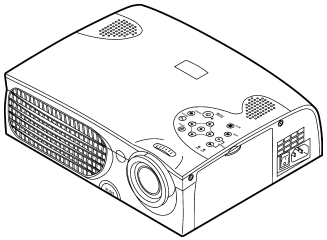
プロジェクタの傾きによって起こる投影画面のゆがみを調整することができます。

レーザーポインタ＆マウス機能付きリモコン標準添付

アシスタントなしでスマートなプレゼンテーションができます。

箱の中には

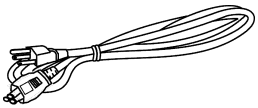
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。



□ プロジェクタ本体



□ リモコン



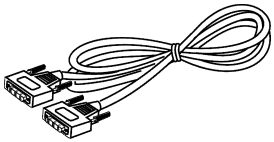
□ 電源ケーブル
（2m）



□ オーディオケーブル
（1.8m）



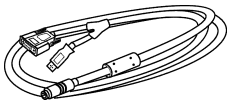
□ コンポジットケーブル
（1.5m）



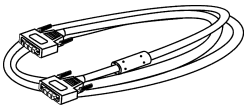
□ アナログ RGB
ケーブル（1.8m）



□ S ビデオケーブル
（2m）

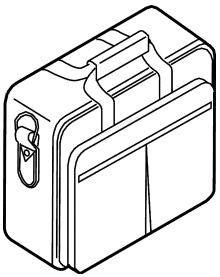


□ マウスケーブル
（1.8m）

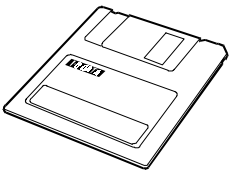


□ DVI-アナログ RGB
ケーブル（1.8m）

箱の中には



☐ 携帯用ケース



☐ PJ-20XGA サポートソフト



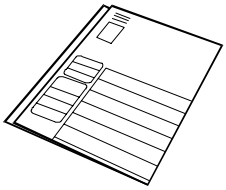
☑ 取扱説明書



☐ ハードウェアシリアル NO. シール



☐ ハードウェア保証書



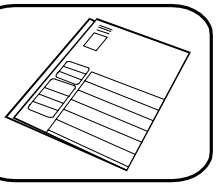
☐ ユーザー登録カード



☐ 乾電池（単 4 型 2 個）
※ 添付リモコンの動作確認用です。
できるだけ早く新しい乾電池とお
取替えください。

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう！





注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

実行用ディスクを作ろう

サポートソフトは、必ずバックアップディスクを作成し、バックアップディスクを実行用ディスクとしてご使用ください。

注意！

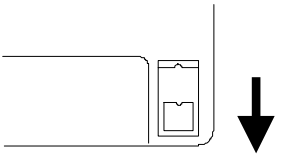
サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。必ず本手順を行い、サポートソフトは大切に保管してください。

以下は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合のバックアップディスク作成例です。

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44M/バイト」を用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。



3 ディスクのコピーを行います。

[マイコンピュータ]の[3.5インチ FD]を右クリックし[ディスクのコピー]を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。


MEMO

接続しよう

本製品の各部の名称を確認し、映像機器を接続します。



各部の名称と機能 8ページ

本製品の各部分の名称と機能を確認してください。



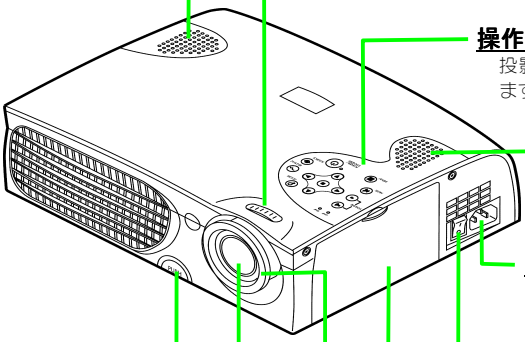
接続する 14ページ

プロジェクタに映像機器を接続します。添付のケーブルでいろいろな映像機器を接続することができます。

各部の名称と機能

まずは、本製品の各部分の名称と機能を確認してください。

プロジェクタ本体



内蔵スピーカ

ズームダイヤル
回転させて投影サイズを調整します。
（27 ページ）

操作パネル
投影時の各種操作を行うことができます。（次ページ）

内蔵スピーカ

電源コネクタ
電源ケーブルを接続します。

主電源
主電源をオン/オフします。

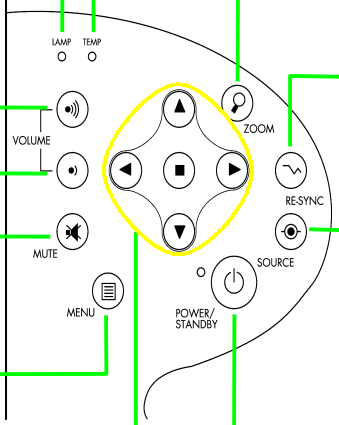
レンズ

高さ調整ボタン
投影位置の高さを調整する際に押します。
（26 ページ）

ケーブル接続パネルカバー
カバーを開くと中にケーブル接続パネルがあります。各種ケーブルを用途に合わせて接続します。
（10 ページ）

フォーカスリング
左右に動かしてフォーカスを調整します。（28 ページ）

操作パネル



ランプ警告 LED（LAMP）
ランプの寿命が近づくと点滅します。点滅したらランプモジュールを交換してください。（74 ページ）

温度警告 LED（TEMP）
内部が高温になると点灯します。点灯すると自動的に電源が切れますので、冷ましてからご使用ください。

ズーム（ZOOM）
投影画面をズームイン/アウトします。ズームイン中はリモコンの４方向ボタンで表示個所を移動できます。（24 ページ）

リシンク（RE-SYNC）
表示画面の再同期（リシンク）を行います。

音量大（VOLUME）
音量を大きくします。

音量小（VOLUME）
音量を小さくします。

ミュート（MUTE）
音声をオン/オフします。

ソース（SOURCE）
映像ソースを選択します。押すたびに「パソコン入力」→「コンポジット入力」→「S ビデオ入力」の順に切り替わります。

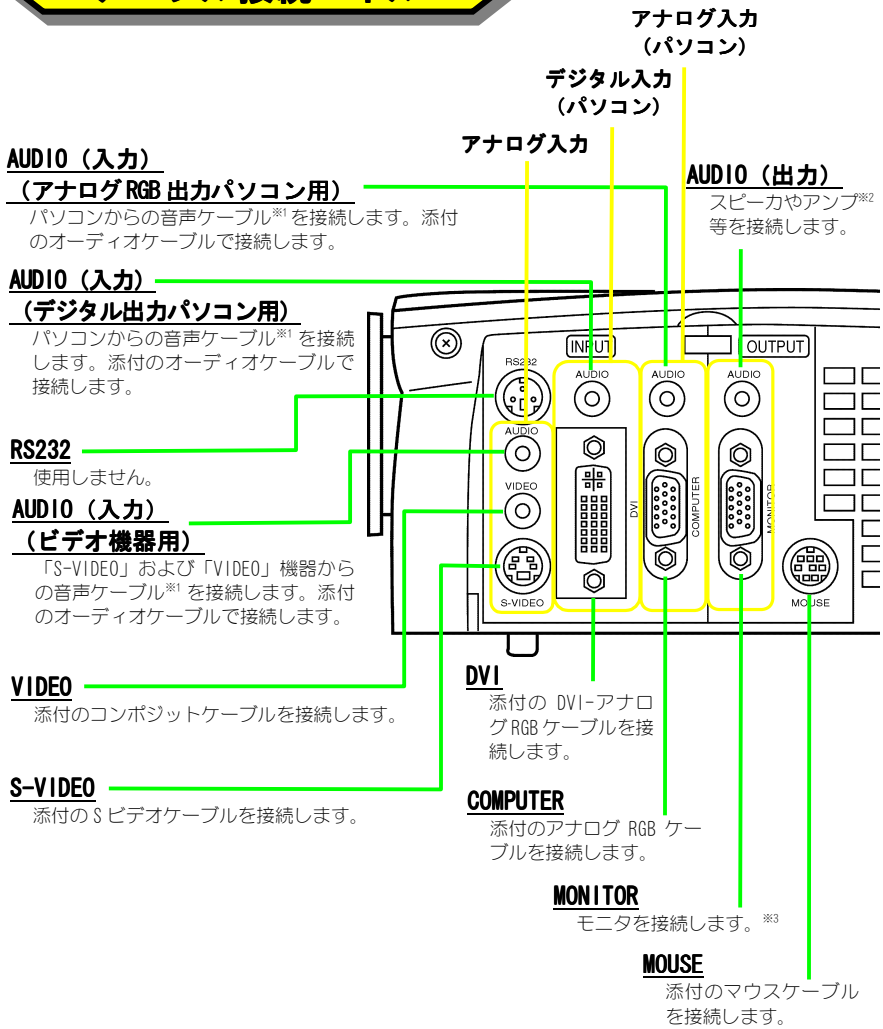
メニュー（MENU）
投影画面に調整/設定メニューを表示します。（29 ページ）

電源（POWER/STANDBY）
投影をオン/オフします。

４方向ボタン
調整/設定メニューで、メニューの選択等に使います。中央のボタンで決定します。（29 ページ）
ズーム中は上ボタンでズームイン、下ボタンでズームアウトします。（24 ページ）

※ ズーム中の表示個所の移動はリモコンで行ってください。操作パネルではできません。

ケーブル接続パネル



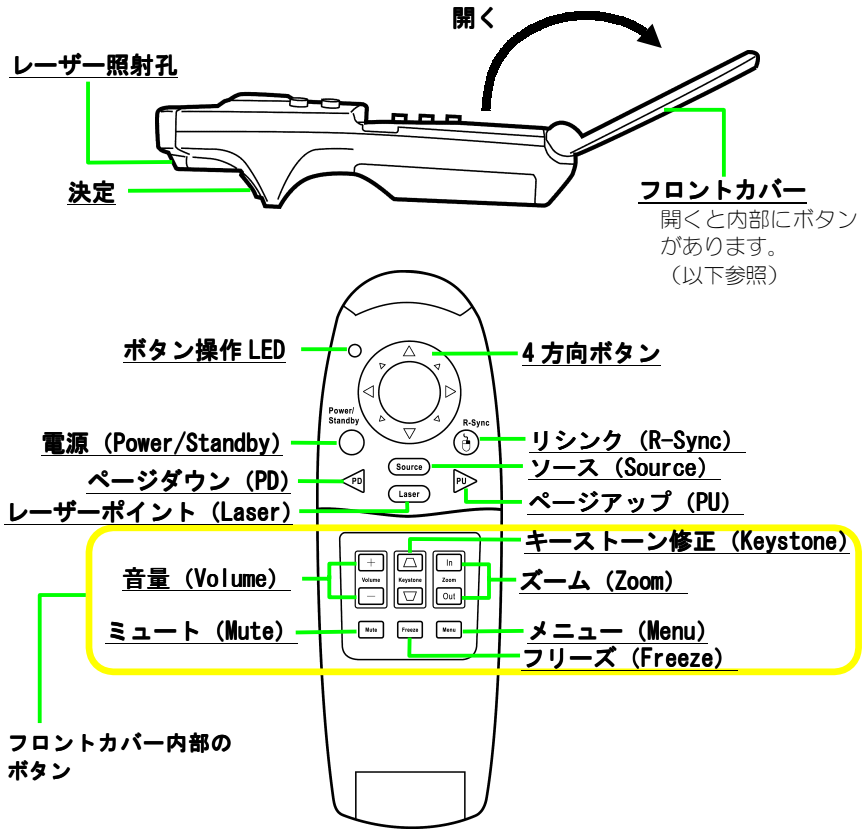
※1 音声ケーブルは添付のオーディオケーブルをご使用ください。２台以上の機器の音声接続をする場合は、別途ケーブルをご用意ください。
※2 必要に応じて別途ご用意ください。スピーカやアンプを接続した場合は、内蔵スピーカはミュート（無音）の状態になります。
※3 デジタル入力の映像は出力されません。

リモコン

リモコンをご使用になる場合は、【リモコンに電池をセット】（77ページ）を参照し、電池をセットしてください。

● リモコン

各部の詳細については、次ページ以降の表をご参照ください。



レーザー照射孔	レーザー光が照射されます。プレゼンテーション時などに、ポインタとしてご使用ください。	
決定	**フロントカバーを開いている時**	「調整/設定メニュー」では決定ボタンとして使用できます。
	フロントカバーを閉じている時	左クリックします。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
ボタン操作LED	リモコンのボタンを押すと点灯し、押したことが確認できます。どのボタンを押しても点灯します。	
4方向ボタン	**フロントカバーを開いている時**	「調整/設定メニュー」で ▲▼◀▶ の操作として使用できます。
	フロントカバーを閉じている時	マウスポインターを移動します。 （23ページ【リモコンでマウス操作をする】参照） ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
電源 (Power/Standby)	投影をオン/オフします。 【電源をオン/オフ】（20ページ参照）	
リシンク (R-Sync)	**フロントカバーを開いている時**	表示画面の再同期（リシンク）を行います。
	フロントカバーを閉じている時	右クリックします。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。



注意！

・リモコンのレーザー光をのぞき込まないでください。
・リモコンのレーザー光を人に向けないでください。

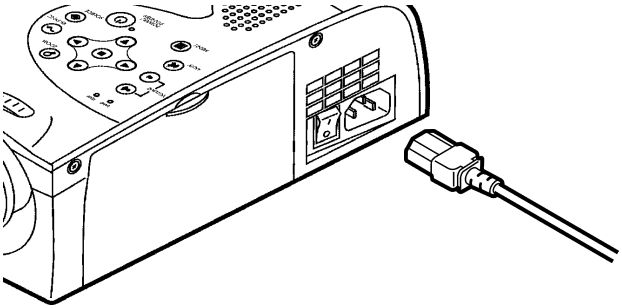
ソース (Source)	映像ソースを選択する際に押します。 押すたびに「パソコン入力」→「コンポジット入力」→「Sビデオ入力」と切り替わります。
ページダウン (PD)	パソコンを投影しているとき、「ページダウン」キーとして使用できます。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
ページアップ (PU)	パソコンを投影しているとき、「ページアップ」キーとして使用できます。 ※ マウスケーブルを接続しているときのみ使用可能。
レーザーポイント (Laser)	押し続けている間レーザー光が照射されます。離すとレーザー光は消えます。 プレゼンテーション時等に、ポインタとして使用します。
音量 (Volume)	音量を調整します。
キーストーン修正 (Keystone)	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。
ズーム (Zoom)	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします（最大9倍まで）。 ※ ズームイン中は、4方向ボタンで表示個所を移動できます。
ミュート (Mute)	ミュート（無音）をオン/オフします。
メニュー (Menu)	「調整/設定メニュー」を表示します。再び押すと終了します。
フリーズ (Freeze)	画面を静止させます。再び押すと解除します。

※ リモコンでのマウス操作については、23ページをご覧ください。

接続する

本製品には、パソコンを含めてさまざまな映像機器を接続することができます。ここではいくつかの機器の接続例を紹介しますので、これらをご参考に、用途にあった接続をしてください。

1 本製品の電源コネクタに電源ケーブルを接続します。



2 次ページ以降を参考に、必要な機器を接続します。

ビデオ機器を接続	15ページ
パソコンを接続	16ページ

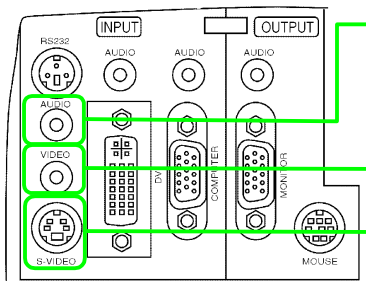
3 電源ケーブルをコンセントに接続します。

ビデオ機器を接続

ビデオ機器の映像を投影するために、ビデオ機器と本製品を接続します。

S ビデオ端子・コンポジット端子のいずれかを搭載した映像機器と接続します。

▼ ケーブル接続パネル

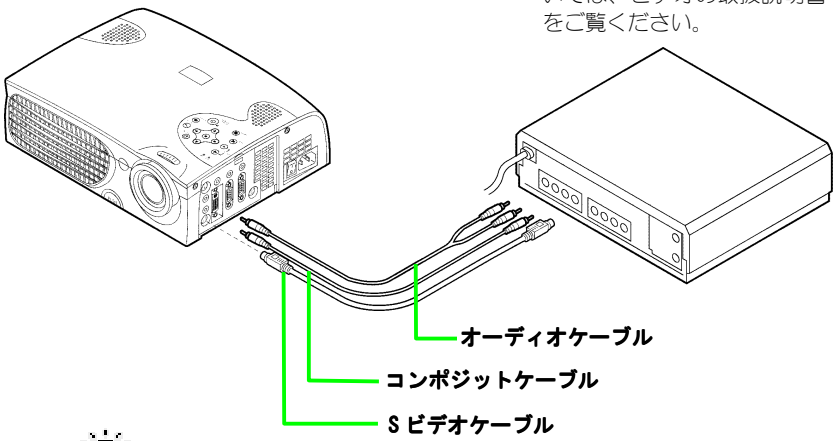


ビデオ機器からのオーディオケーブルを接続

ビデオ機器からのコンポジットケーブルを接続

ビデオ機器からの S ビデオケーブルを接続

※ ビデオの各コネクタ位置については、ビデオの取扱説明書をご覧ください。



オーディオケーブル

コンポジットケーブル

S ビデオケーブル

参考

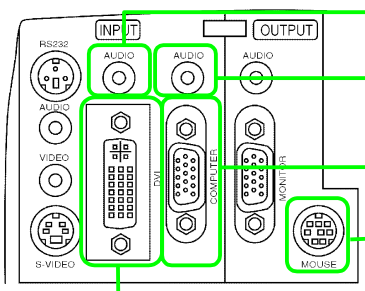
コンポジットケーブルと S ビデオケーブルの両方を使い、ビデオ機器を2台接続した場合は、「ソース」ボタンで投影する機器を切り替えることができます。

パソコンを接続

パソコンの映像を投影するために、パソコンと本製品を接続します。Windows Me/98の場合、本製品の電源をオンにしてパソコンを起動すると、自動的に画面が表示されます。56ページの手順に従ってください。

RGB 端子を搭載した映像機器（パソコン）を接続します。

▼ ケーブル接続パネル



アナログ接続したパソコンからのオーディオケーブルを接続

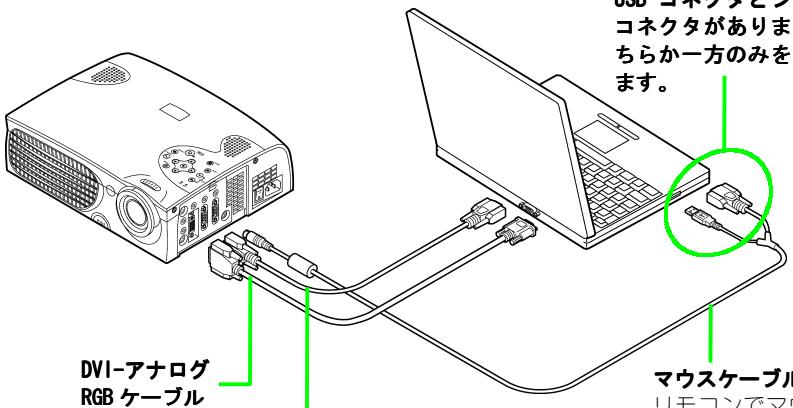
デジタル接続したパソコンからのオーディオケーブルを接続

パソコンからのアナログ RGB ケーブルを接続

パソコンからのマウスケーブルを接続

パソコンからの DVI-アナログ RGB ケーブルを接続

※ パソコンの各コネクタ位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



USB コネクタとシリアルコネクタがあります。どちらか一方のみを接続します。

DVI-アナログ RGB ケーブル

アナログ RGB ケーブル

マウスケーブル
リモコンでマウス操作する場合に接続します。

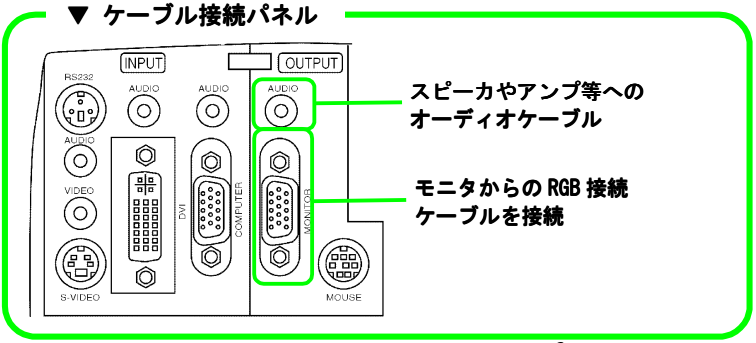
注意！

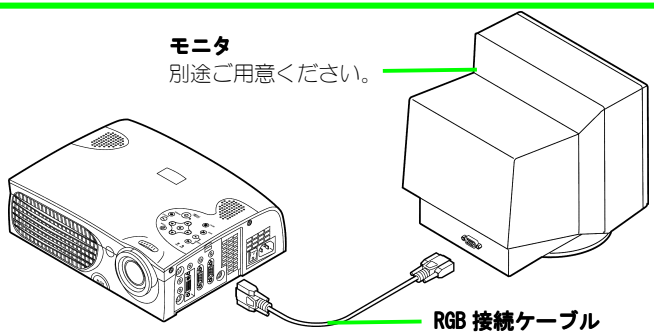
・パソコンに DVI 端子がある場合で、本製品の DVI 端子と接続したい場合は、別途 DVI-DVI ケーブルを用意し、パソコンの DVI 端子と本製品の DVI 端子を接続してください。
・パソコンを接続時に、「マウスケーブル」を接続した場合は、初回起動時にマウスドライバをインストールします。画面に従ってインストールをすすめてください。

参考

・DVI-アナログ RGB ケーブルとアナログ RGB ケーブルの両方を使い、パソコンを2台接続した場合は、「ソース」ボタンで投影するパソコンを切り替えることができます。
・投影中の画面をモニタに表示することができます。以下のように接続してください。プレゼンテーション時などに、投影画面とは別にお手元のモニタで映像を確認することができます。（アナログ RGB 入力時のみ可能です。）

▼ ケーブル接続パネル






MEMO

らくらく操作でフル活用

実際に投影してみましょう。
いくつかの簡単な操作を覚えておけば、プレゼンテーションのときに活用できます。

電源をオン/オフ 20ページ

オンとオフはここで説明している手順に従って行ってください。

レーザーポインタとリモコンでのマウス操作 22ページ

レーザーポインタを使ってみましょう。パソコンを接続している場合はリモコンによるマウス操作も可能です。

ズームイン/アウト 24ページ

投影画面の一部分をズームイン/アウトできます。

電源をオン/オフ

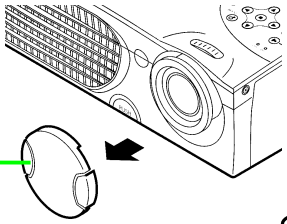
はじめに電源のオン/オフの方法を確認してください。

● 電源をオンにする（投影する）

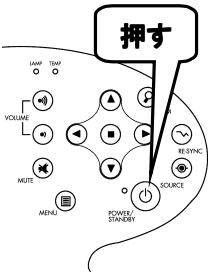
1 **各ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。**
【接続する】（14ページ）でご確認ください。

2 **「主電源」をオンにします。**

3 **レンズキャップ**
を取り外します。



4 **操作パネルの「電源」⏻ ボタンを押します。**
「電源」ボタンが点灯します。その後スタートアップの画面が約20秒間表示されます。



5 **接続機器の電源をオンにします。**
プロジェクタは自動的に接続した機器を検出して投影します。

注意！

- **画面に何も表示されない場合は、各ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。**
- **複数の機器を同時に接続している場合は、リモコンか操作パネルの「ソース」ボタンで映像を切り替えてください。**
- **リモコンはプロジェクタ本体から 6m の範囲内で、プロジェクタ本体に向けて操作してください。**

● 電源をオフにする

1 **操作パネルの「電源」⏻ ボタンを押します。**
リモコンの場合も同様に「電源」ボタンを押します。

2 **画面に「Power off the lamp？」と表示されたら、再び「電源」⏻ ボタンを押します。**
リモコンの場合も同様に「電源」ボタンを押します。
「電源」ボタンを押さなかった場合、またはそれ以外のボタンを押した場合は、元の画面に戻ります。

3 **「主電源」をオフにします。**



注意！

- **「ランプ警告 LED」が点滅したら、ランプモジュールをすぐに取り替えてください。（74 ページ）**
- **「温度警告 LED」が点灯したら、プロジェクタが高温になっていることを表します。このときプロジェクタは自動的にオフになります。その後、「主電源」をオフにしてください。**
  しばらく放置し、プロジェクタが冷えたら再度オンにすることができますが、問題が続く場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- **一旦電源をオフにした直後に再度電源をオンにする場合は、保護回路の働きにより、すぐに投影しないことがありますが、故障ではありません。ランプが冷えるまでしばらくお待ちください。**
- **電源コードを取り外す場合は、プロジェクタの冷却ファンが停止（冷却ファンの回転音が停止）するのを待ち、その後「主電源」をオフにして取り外してください。**

レーザーポインタとリモコンでのマウス操作

リモコンはプレゼンテーション時等に、ポインタとして使うことができます。また、パソコンを投影している場合はマウス操作も可能です。

注意！

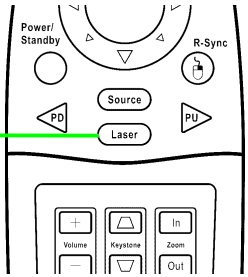
・リモコンのレーザー光をのぞき込まないでください。
・リモコンのレーザー光を人に向けないでください。

● レーザーポインタを使う

「レーザーポイント」ボタンを押し続けます。

レーザー光が照射され、赤色の点を表示します。ポインタとしてご使用ください。「レーザーポイント」ボタンを離すとレーザー光は消えます。

レーザーポイントボタンを押す

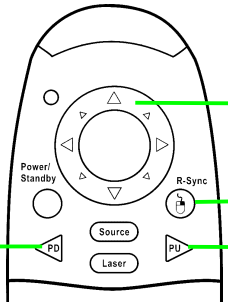


● リモコンでマウス操作をする

1 **リモコンのフロントカバーが閉じていることを確認します。**

2 **以下に従ってマウス操作を行います。**

リモコンは投影画面ではなく、プロジェクタ本体に向けて操作してください。

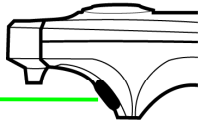


**4 方向ボタンで
カーソル移動**

**リシンクボタン
で右クリック**

**ページダウンボタン
で下へスクロール**

**ページアップボタン
で上へスクロール**



**決定ボタンで
左クリック**



参考

リモコンでマウス操作ができるのはパソコン接続時のみです。

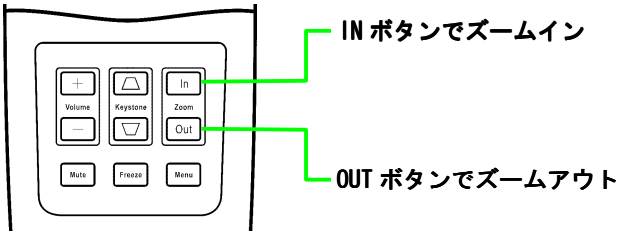
ズームイン/アウト

投影画面の大きく見たいところを拡大して見ることができます。さらに、そのままの状態で拡大位置を移動することができます。

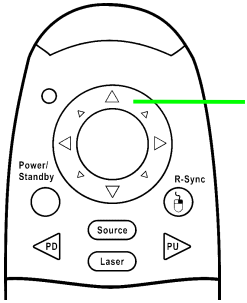
1 **リモコンのフロントカバーが開いていることを確認します。**

2 **以下に従ってズームイン/アウトを行います。**

リモコンは投影画面ではなく、プロジェクタ本体に向けて操作してください。



3 **リモコンの4方向キーでズームする位置を移動できます。**



※ ズーム中の表示個所の移動はリモコンで行ってください。操作パネルではできません。

調整と設定

投影画面を調整してより快適にご使用ください。
また、うまく投影できない場合など、トラブルの改善にもお役立てください。



投影の高さ･サイズ･フォーカス 26ページ

投影位置の高さ、サイズ、フォーカスを調整します。



調整/設定メニューの操作方法 29ページ

調整/設定メニューの操作方法を説明します。



調整/設定メニューでできること 30ページ

調整/設定メニューの各タブと項目について説明します。



調整/設定メニューの詳細 31ページ

調整/設定メニューの各画面を紹介します。

投影の高さ・サイズ・フォーカス

投影位置の調整は、「高さ調整」ボタンで簡単に行えます。

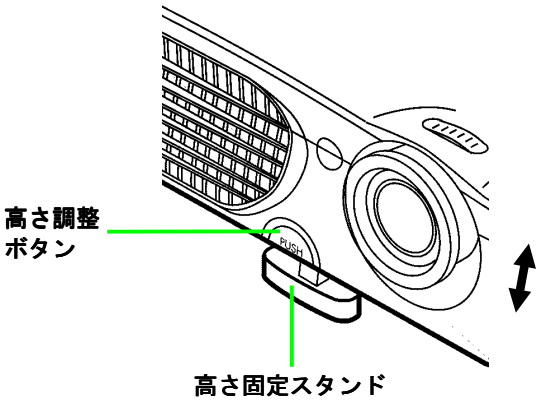
● 投影位置の高さを調整する

1 **「高さ調整」ボタンを押しながら、プロジェクタを任意の高さに調整します。**

「PUSH」と書いてある「高さ調整」ボタンを押しつづけ、この状態でプロジェクタ本体を手で持ち上げたり、押し下げたりして調整します。

2 **ちょうど良い高さで「高さ調整」ボタンを放します。**

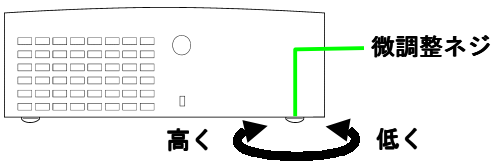
位置が固定されます。



参考

傾きの微調整には微調整ネジをご使用ください。

▼ 背面図



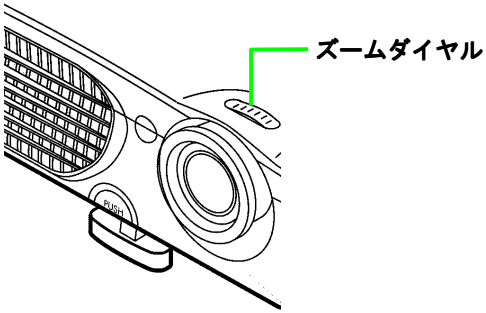
● 投影サイズを調整する

1 スクリーンとプロジェクタの距離を調整します。

スクリーンとプロジェクタ間の距離を遠ざけると大きくなり、近づけると小さくなります。距離は1～12.4mの範囲で調整してください。

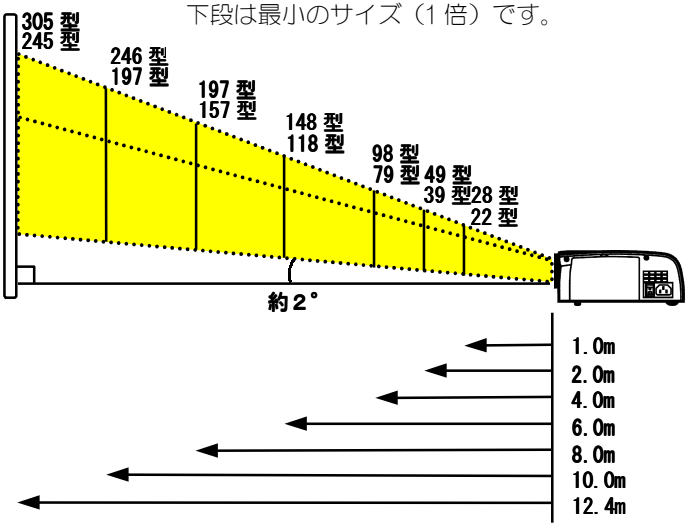
2 ズームダイヤルを調整します。

ズームダイヤルを左右に動かすことによっても、ある程度調整することができます。



▼ 距離と投影サイズの関係

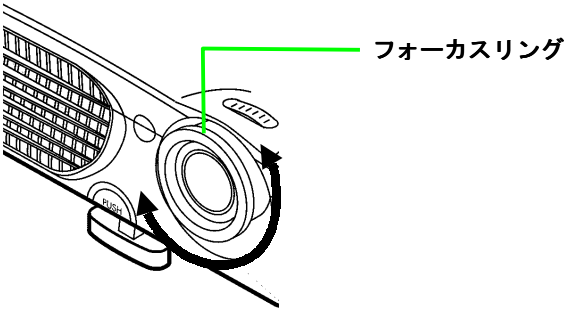
各条件下での投影サイズ（型）を表しています。
上段はズームダイヤルで最大のサイズ(約1.2倍)、
下段は最小のサイズ（1倍）です。



● 投影フォーカスを調整する

フォーカスリングを回転させます。

回転させて投影している画面が鮮明になるように調整します。



注意！

スクリーンとプロジェクタ間の距離が 1m 以内、または 12.4m 以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

調整/設定メニューの操作方法

本製品には「調整/設定メニュー」（OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニュー）が搭載されており、投影画面の調整や、各種設定が簡単に変更できます。
「調整/設定メニュー」は投影中の映像がパソコンならコンピュータモードに、ビデオ機器ならビデオモードになります。
各「調整/設定メニュー」の詳細については次ページ以降をご覧ください。

1 **リモコンか、操作パネルの「メニュー」ボタンを押します。**
「調整/設定メニュー」が表示されます。

2 **調整/設定したいタブを4方向ボタンの◀ ▶ボタンで選択し、「決定」ボタンを押します。**
[イメージⅠ]⇔[イメージⅡ] ⇔[オーディオ] ⇔[言語] ⇔[プロジェクション設定]の様に切り替わります。操作パネルの場合、「決定」ボタンは4方向ボタンの中央のボタンになります。

3 **調整/設定したい項目を4方向ボタンの▲ ▼ボタンで選択します。**
選択した項目は、青色になります。
[明るさ] ⇔[コントラスト] ⇔[色温度] ⇔[ズーム] ⇔[キーストーン]の様に切り替わります。

4 **4方向ボタンの◀ ▶ボタンでパラメータを調整/設定します。**
同じタブ内で他に調整/設定したい項目があれば、再度手順 3 から作業を行います。

5 **各調整/設定が完了したら、「決定」ボタンを押します。**
他のタブを調整したい場合は、再度手順 2 から作業を行います。
操作パネルの場合、「決定」ボタンは、4方向ボタンの中央のボタンになります。

6 **「メニュー」ボタンを押します。**
「調整/設定メニュー」が終了します。



注意！

何も操作がなかった場合、「調整/設定メニュー」は約 15 秒で自動的に消えます。

調整/設定メニューでできること

「調整/設定メニュー」では、以下のことができます。前ページ【調整/設定メニューの操作方法】で操作方法を確認し、必要なページをご参照ください。

● パソコン投影時の調整/設定

イメージ-Ⅰタブ

明るさ	31ページ
コントラスト	
色温度	
ズーム	
台形補正（キーストーン）	

イメージ-Ⅱタブ

表示幅（周波数）	32ページ
フェーズ調整（トラッキング）	
縦横比をかえる（16：9/4：3）	
水平垂直位置	
設定を元に戻す（リセット）	

● パソコン以外を投影時の調整/設定

イメージ-Ⅰタブ

明るさ	33ページ
コントラスト	
色の濃さ（カラー）	
色合い	
鮮明度	

イメージ-Ⅱタブ

台形補正（キーストーン）	34ページ
縦横比をかえる（16：9/4：3）	
色温度	
設定を元に戻す（リセット）	

● 音声に関する調整/設定

オーディオタブ

音量	35ページ
高音（トレブル）	
低音（ベース）	

モノラル/ステレオ	35ページ
ミュート	

● その他の調整/設定

言語タブ

言語	36ページ

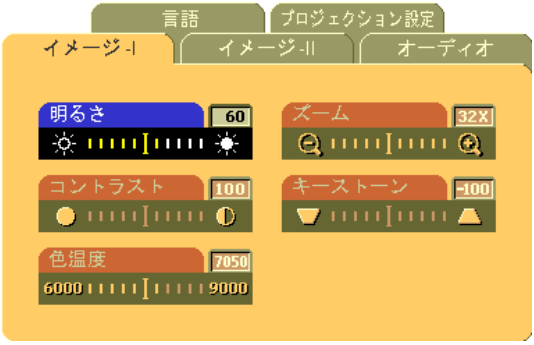
プロジェクション設定タブ

調整/設定メニュー表示位置（メニュー位置）	37ページ
投射方式	

シグナル・タイプ	37ページ
ランプ警告	
ランプリセット	

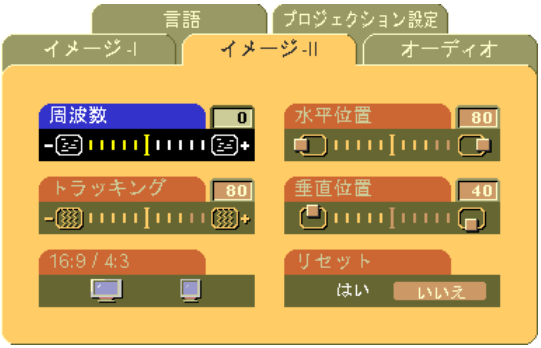
調整/設定メニューの詳細

●［イメージ-Ⅰ］（パソコン選択時）



明るさ	画面の明るさを調整します。 ◀ボタンを押すと画面が暗くなります。 ▶ボタンを押すと画面が明るくなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀ボタンを押すとコントラスト比が減少します。 ▶ボタンを押すとコントラスト比が増加します。
色温度	色温度を調整します。範囲は6000K～9000Kです。 ◀ボタンを押すと色温度が減少します（黄色っぽい画面になります）。 ▶ボタンを押すと色温度が増加します（青っぽい画面になります）。
ズーム	画面を32段階でズームイン/ズームアウトします。 ◀ボタンを押すと画面をズームアウトします。 ▶ボタンを押すと画面を最大9倍までズームします。
キーストーン	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。

●［イメージ-Ⅱ］（パソコン選択時）



周波数	表示幅の調整ができます。
トラッキング	画面にノイズがでる場合に調整します。
16：9/4：3	アスペクト比（縦横の比率）を切り替えます。
水平位置	◀ボタンを押すと画面全体が左へ移動します。 ▶ボタンを押すと画面全体が右へ移動します。
垂直位置	◀ボタンを押すと画面全体が下へ移動します。 ▶ボタンを押すと画面全体が上へ移動します。
リセット	「はい」を選択すると、現在のモードの各設定が初期値に戻ります。

●［イメージ- Ⅰ］（ビデオ選択時）



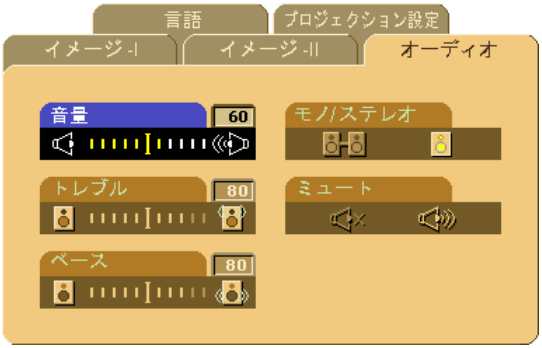
明るさ	画面の明るさを調整します。 ◀ボタンを押すと画面が暗くなります。 ▶ボタンを押すと画面が明るくなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀ボタンを押すとコントラスト比が減少します。 ▶ボタンを押すとコントラスト比が増加します。
カラー	色の濃さを調整します。 ◀ボタンを押すと淡くなります。 ▶ボタンを押すと濃くなります。
色合い	画面の赤と緑のバランスを調整します。 ◀ボタンを押すと緑色の要素が増加します。 ▶ボタンを押すと赤色の要素が増加します。
鮮明度	鮮明度を調整します。 ◀ ボタンを押すと鮮明度が減少します。 ▶ ボタンを押すと鮮明度が増加します。

●［イメージ-Ⅱ］（ビデオ選択時）



キーストーン	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します。
16：9/4：3	アスペクト比（縦横の比率）を切り替えます。
色温度	色温度を調整します。範囲は6000K～9000Kです。 ◀ボタンを押すと色温度が減少します（黄色っぽい画面になります）。 ▶ボタンを押すと色温度が増加します（青っぽい画面になります）。
リセット	「はい」を選択すると、現在のモードの各設定が初期値に戻ります。

●［オーディオ］



音量	◀ボタンを押すと音量を小さくします。 ▶ボタンを押すと音量を大きくします。
トレブル（高音）	オーディオソースの高音域を調整します。 ◀ボタンを押すと高音域を強めます。 ▶ボタンを押すと高音域を弱めます。
ベース（低音）	オーディオソースの低音域を調整します。 ◀ボタンを押すと低音域を強めます。 ▶ボタンを押すと低音域を弱めます。
モノ/ステレオ	オーディオソースをモノラル/ステレオに切り替えます。 に設定するとモノラルになります。 に設定するとステレオになります。
ミュート	に設定するとミュート（無音）がオンになります。 に設定するとミュート（無音）がオフになります。

●［言語］



English	「調整/設定メニュー」を設定した言語で表示します。
Deutsch	
Francais	
Italiano	
Espanol	
Portuguese	
日本語	
中文（繁）	
中文（簡）	

●［プロジェクション設定］



メニュー位置	投影画面上で「調整/設定メニュー」を表示させる位置を選択します。	
投射方式	**前面投影** 	スクリーンの前面から投影する場合に設定します。
	裏面投影 	画面の左右を反転して表示します。スクリーンの裏面から投影する場合に設定します。
	前面天井投影 	画面の上下を反転して表示します。天井に取り付けてスクリーンの前面から投影する場合に設定します。
	裏面天井投影 	画面の上下左右を反転して表示します。天井に取り付けてスクリーンの裏面から投影する場合に設定します。
シグナル･タイプ	ご使用のビデオソースのタイプを表示します。	
ランプ警告	ランプ寿命の30時間前に、警告メッセージを出すか出さないかを設定します。  に設定すると警告メッセージを表示します。	
ランプリセット	ランプモジュールの取り替えを行った後は、  を選択してリセットしてください。	


MEMO

サポートソフトを活用する

映像機器としてパソコンを接続した場合は、サポートソフトのインストールをおすすめします。

Windows XPの場合 40ページ

Windows 2000の場合 48ページ

Windows Me/98の場合 56ページ

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 60ページ

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 63ページ

▼ Windows 95バージョン確認方法

① [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。

② [システムのプロパティ]で表示される番号がWindows 95のバージョンです。



参考

- パソコンを接続している場合でも、サポートソフトをインストールせずにご使用いただくことは可能ですがサポートソフトをインストールすることにより、本製品に適した解像度、および周波数の設定が可能になるため、インストールをおすすめします。
- Windows NT 4.0 など、上記以外の OS ではサポートソフトをインストールする必要はありません。取り付け後はそのままお使いください。

Windows XP の場合

※ 画面は[Windows XPスタイル]に設定した場合のものです。

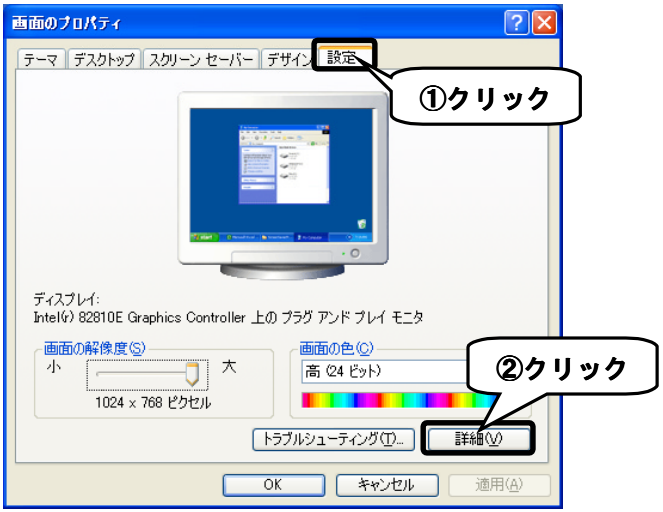
Windows XPスタイルにする

デスクトップ(壁紙)を右クリック→[プロパティ]→[デザイン]タブ→[ウィンドウとボタン]で[Windows XP スタイル]を選択します。

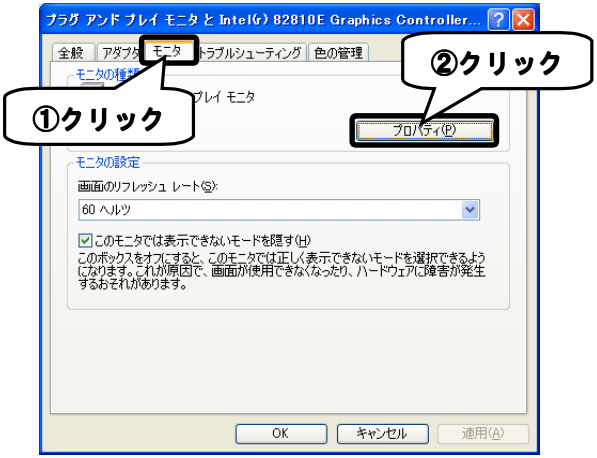
1 **Windows XPを起動します。**
「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

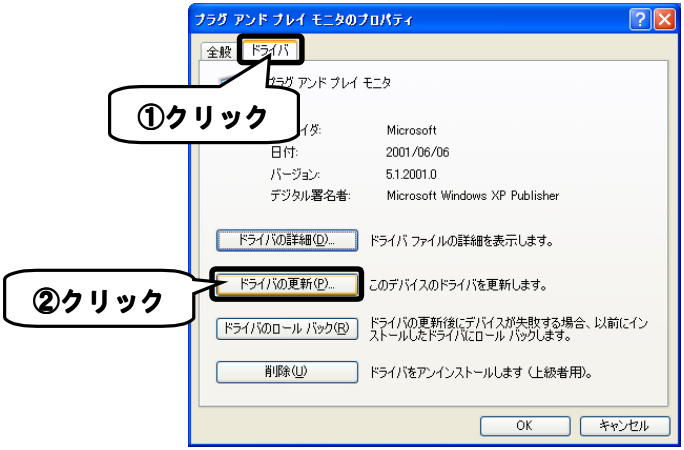
3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**



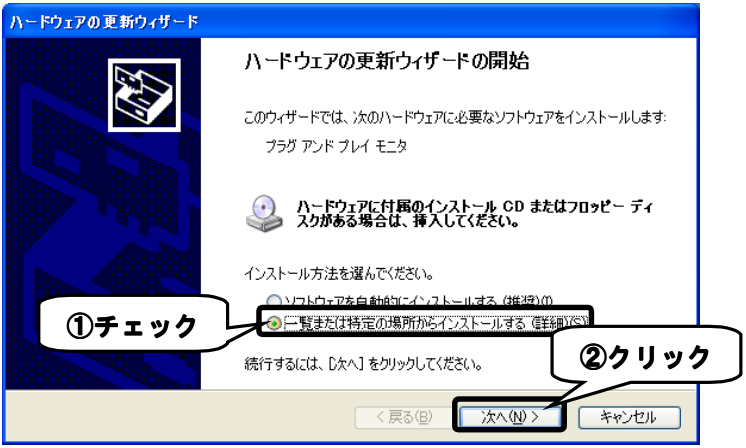
4 ［モニタ］タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。



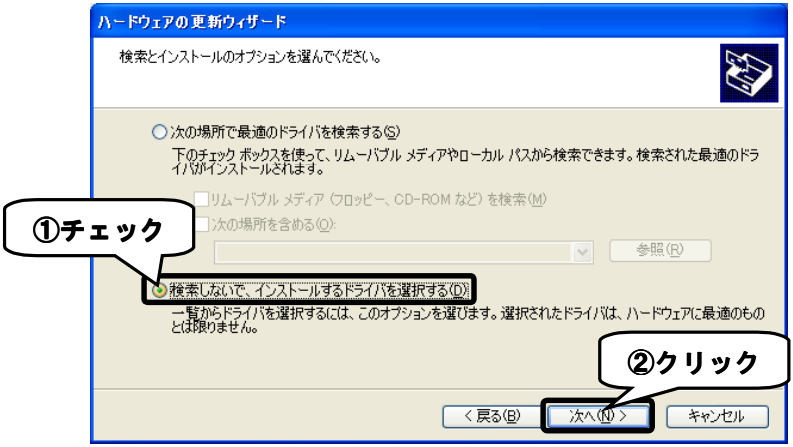
5 ［ドライバ]タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



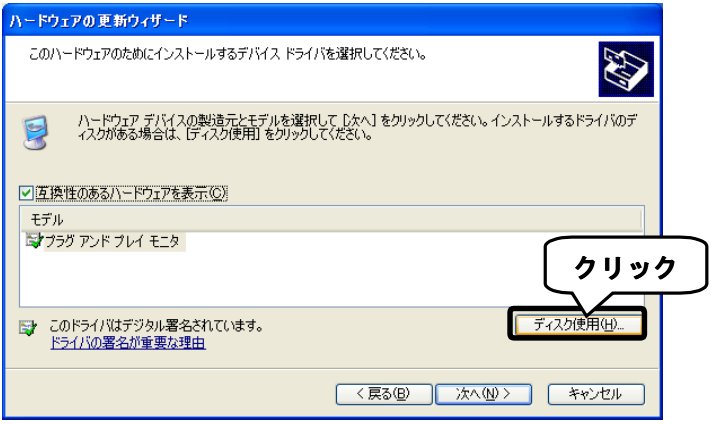
6 [一覧または特定…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



7 [検索しないで…] をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



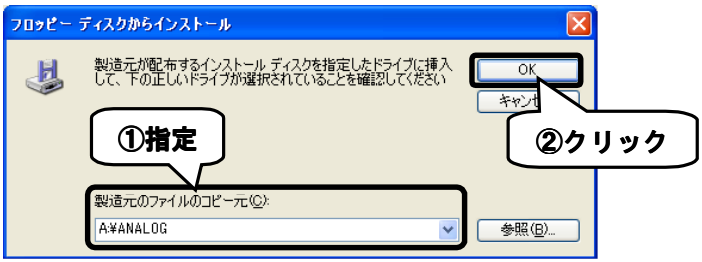
9 「PJ-20XGAサポートソフト」をセットします。

10 [製造元のファイルのコピー元]でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→[OK]ボタンをクリックします。

ケーブル接続パネルのDVI端子に接続した機器をご使用になる場合はDIGITALフォルダを指定します。COMPUTER端子の場合はANALOGフォルダを指定します。

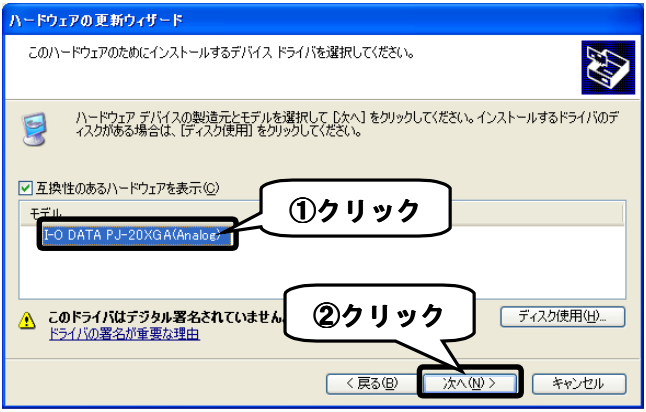
▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

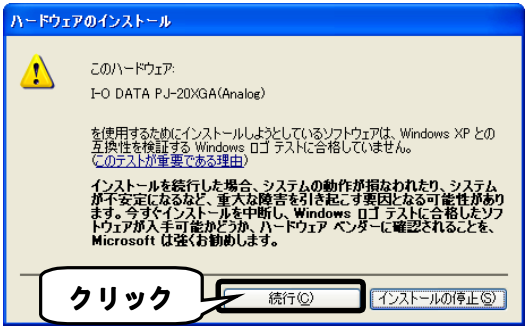


11 ［I-O DATA PJ-20XGA（Analog）］をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。

手順 10 でDigitalフォルダを指定した場合は［I-O DATA PJ-20XGA（Digital）］をクリックします。



12 [続行]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

13 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でWindows XPへのインストールは終了です。

次は【インストール後の確認（Windows XP）】（次ページ）にお進みください。

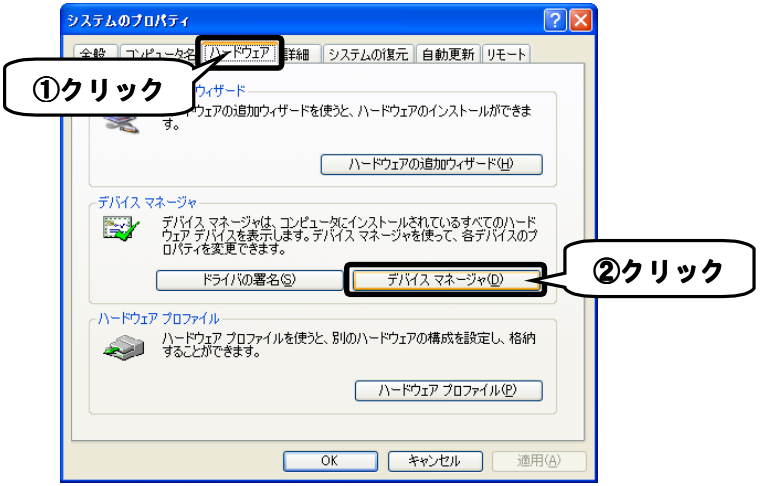
● インストール後の確認（Windows XP）

本製品がWindows XP上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

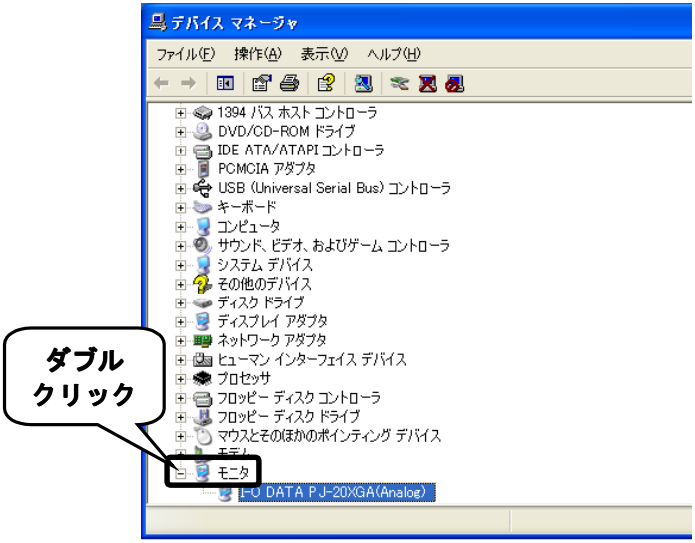
1 **[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。**



2 **[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



3 ［モニタ］をダブルクリックします。



4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

［モニタ］下に［I-O DATA PJ-20XGA…］が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

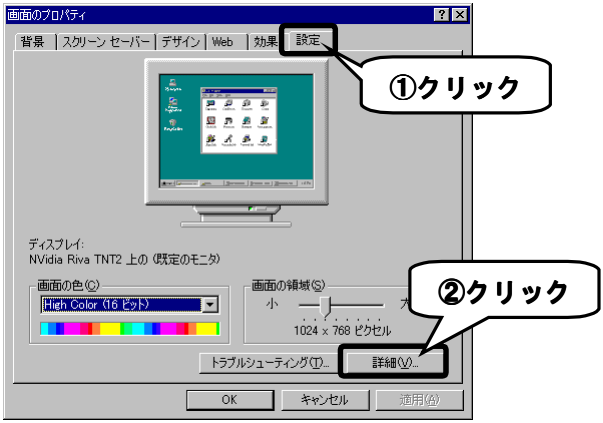
解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows 2000 の場合

1 **Windows 2000を起動します。**
Administrator権限でログオンしてください。

2 **デスクトップ（壁紙）上で右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

3 **［設定］タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**



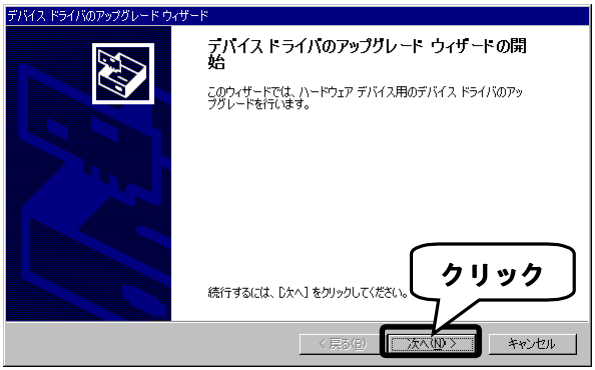
4 **［モニタ］タブ→[プロパティ]ボタンをクリックします。**



5 ［ドライバ］タブ→［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



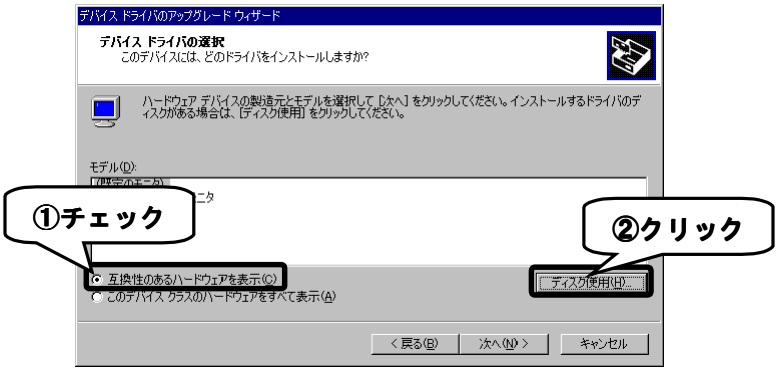
6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 [このデバイスの…]をチェック→[次へ]ボタンをクリックします。



8 [互換性のある…]をチェック→[ディスク使用]ボタンをクリックします。



9 「PJ-20XGAサポートソフト」をセットします。

10 ［製造元のファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

ケーブル接続パネルのDVI端子に接続した機器をご使用になる場合はDIGITALフォルダを指定します。COMPUTER端子の場合はANALOGフォルダを指定します。

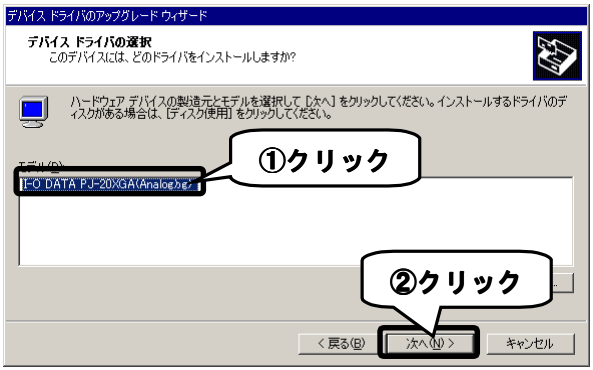
▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

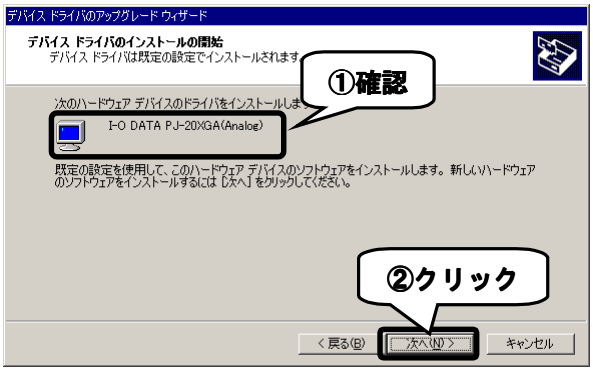


11 ［I-O DATA PJ-20XGA（Analog）］をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。

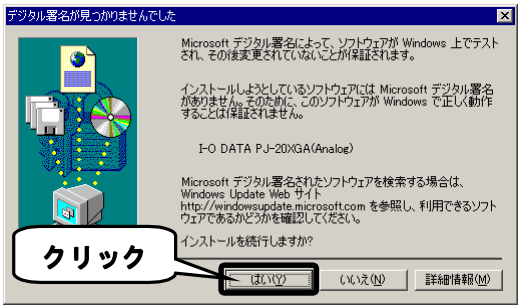
手順 10 でDigitalフォルダを指定した場合は［I-O DATA PJ-20XGA（Digital）］をクリックします。



12 モニタの種類を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［はい］ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

14 **［完了］ボタンをクリックします。**

15 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

手順 4 の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックし、さらに[画面のプロパティ]の[OK]ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000へのインストールは終了です。

次は【インストール後の確認（Windows 2000）】（次ページ）にお進みください。

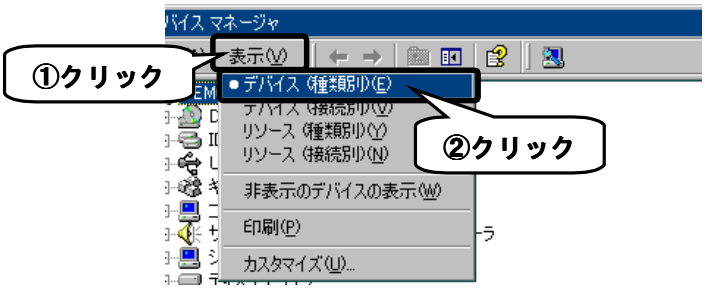
● インストール後の確認（Windows 2000）

本製品がWindows 2000上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

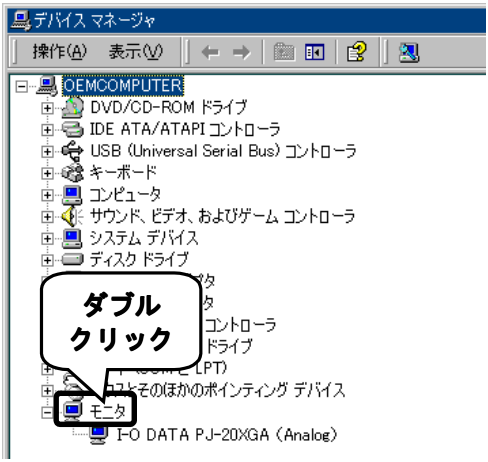
1 **[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。**
[システムのプロパティ]が起動します。

2 **[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

3 **[表示]→[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4 ［モニタ］をダブルクリックします。



5 本製品が正常に認識されていることを確認します。

［モニタ］下に［I-O DATA PJ-20XGA…］が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。

Windows Me/98 の場合

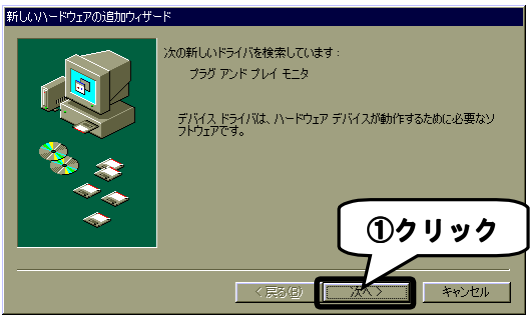
※ 画面はWindows 98のものです。

1 Windows を起動します。

本製品が自動的に認識されます。
ドライバをインストールしない場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

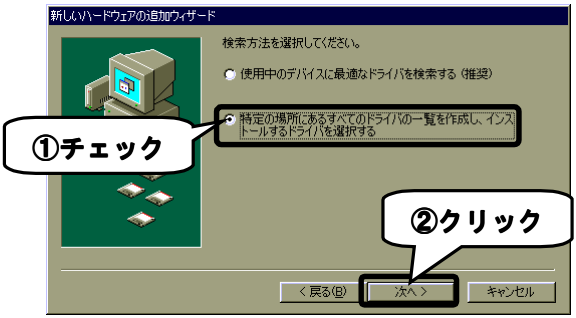
2 ［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合は、[ドライバの場所を指定する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

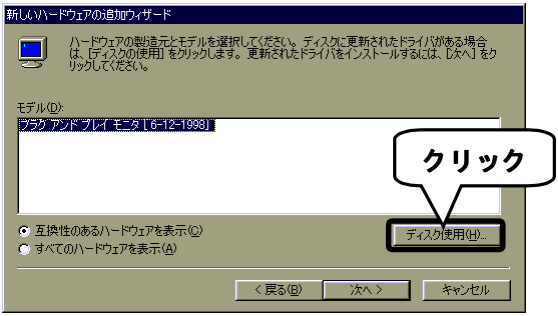


3 ［特定の場所にあるすべての…］をチェック→［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合も、同様の項目をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



4 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



5 「PJ-20XGAサポートソフト」をセットします。

6 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

ケーブル接続パネルのDVI端子に接続した機器をご使用になる場合はDIGITALフォルダを指定します。COMPUTER端子の場合はANALOGフォルダを指定します。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

PC-9821 シリーズの場合は、[参照] ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、[OK] ボタンをクリックしてください。

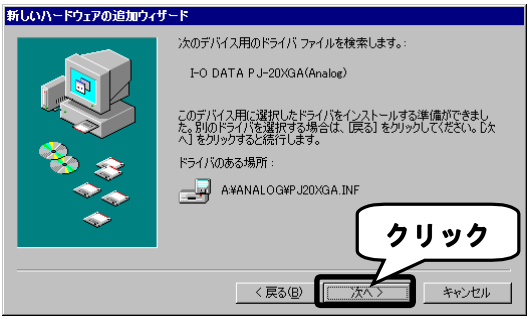


7 [I-O DATA PJ-20XGA（Analog）] をクリック→[次へ]ボタンをクリックします。

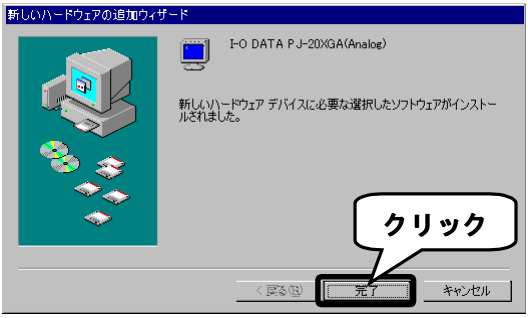
手順 6 でDigitalフォルダを指定した場合は［I-O DATA PJ-20XGA（Digital）］をクリックします。



8 [次へ] ボタンをクリックします。



9 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でWindows Me/98へのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（66ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950a の場合

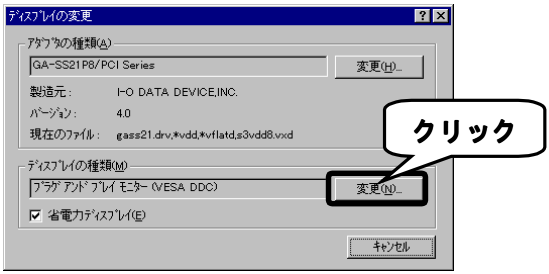
1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

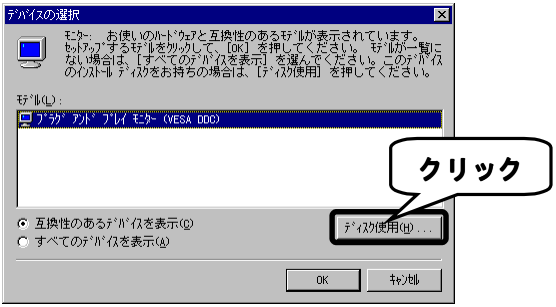
3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。**



4 **［ディスプレイの種類］の［変更］ボタンをクリックします。**



5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 「PJ-20XGAサポートソフト」をセットします。

7 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

ケーブル接続パネルのDVI端子に接続した機器をご使用になる場合はDIGITALフォルダを指定します。COMPUTER端子の場合はANALOGフォルダを指定します。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

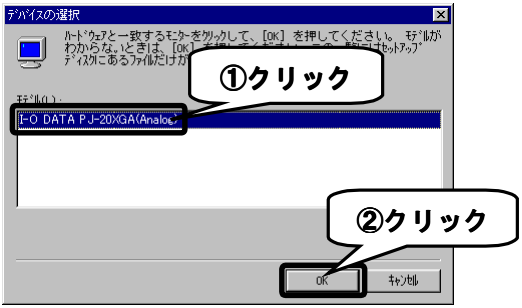
アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

PC-9821 シリーズの場合は、［参照］ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、［OK］ボタンをクリックしてください。



8 **［I-O DATA PJ-20XGA（Analog）］をクリック→[OK]ボタンをクリックします。**

手順 7 でDigitalフォルダを指定した場合は［I-O DATA PJ-20XGA（Digital）］をクリックします。



9 **［閉じる］ボタンをクリックします。**



10 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

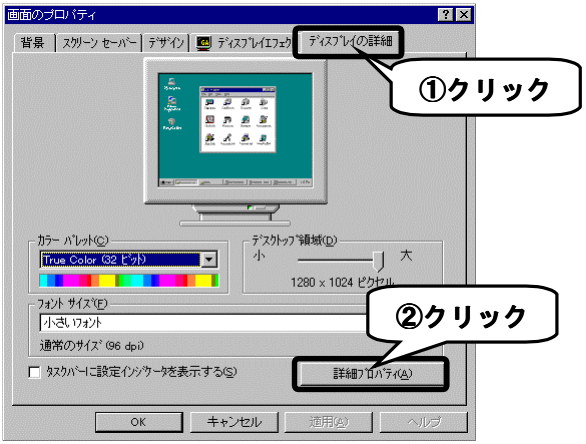
以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（66ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 C の場合

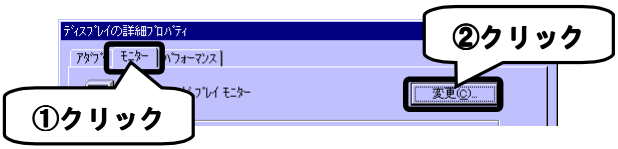
1 **Windows 95を起動します。**

2 **デスクトップ（壁紙）を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］が起動します。

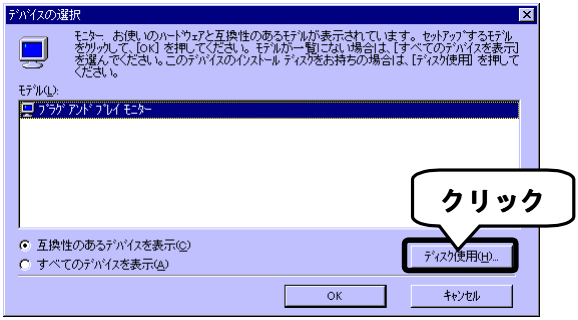
3 **［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。**



4 **［モニター］タブ→［変更］ボタンをクリックします。**



5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 「PJ-20XGAサポートソフト」をセットします。

7 ［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブとフォルダを指定→［OK］ボタンをクリックします。

ケーブル接続パネルのDVI端子に接続した機器をご使用になる場合はDIGITALフォルダを指定します。COMPUTER端子の場合はANALOGフォルダを指定します。

▼ フロッピーディスクドライブがAの場合の指定例

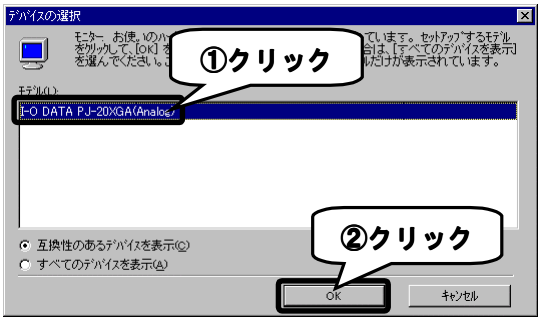
アナログ接続の場合	A:¥ANALOG
デジタル接続の場合	A:¥DIGITAL

PC-9821 シリーズの場合は、［参照］ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブとフォルダを指定してから、［OK］ボタンをクリックしてください。



8 **［I-O DATA PJ-20XGA（Analog）］をクリック→[OK]ボタンをクリックします。**

手順 7 でDigitalフォルダを指定した場合は［I-O DATA PJ-20XGA（Digital）］をクリックします。



9 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cへのインストールは終了です。
次は【インストール後の確認（Windows Me/98/95）】（次ページ）にお進みください。

● インストール後の確認（Windows Me/98/95）

本製品がWindows Me/98/95上で正常に認識されているかどうかを[デバイスマネージャ]で確認します。[デバイスマネージャ]上で正しく表示されていればインストール作業は正常に完了しています。

1 **［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。**
［システムのプロパティ］が起動します。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリック→［種類別に表示］をチェックします。**



PC98-NXシリーズで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

1 **［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。**

2 **［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。**

3 **再度手順の 1 から行います。**

3 ［モニタ］をダブルクリックします。



4 本製品が正常に認識されていることを確認します。

［モニタ］下に［I-O DATA PJ-20XGA…］が表示されている場合は、正しく認識されています。

正しく表示されていれば正常です。

本製品をお使いください。

参考

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→［プロパティ］をクリック→［画面のプロパティ］で行ってください。


MEMO

ふろく



困ったときには 70ページ

トラブル発生時にご覧ください。



ランプモジュールの交換 74ページ

ランプの寿命がきたら、取り替えてください。



リモコンに電池をセット 77ページ

はじめてリモコンに電池をセットする場合や、電池を取り替える場合にご覧ください。



用語解説 78ページ



ハードウェア仕様 79ページ

困ったときには

ご使用中にトラブルが発生した場合にご参照ください。

画面になにも表示されない

- すべてのケーブルと電源ケーブルが、【接続しよう】（14ページ）で説明されているようにしっかりと接続されているかどうか確認してください。
- 各コネクタのピンが曲がったり、壊れていないか確認してください。
- ランプモジュールがしっかりと装着されているかどうか確認してください。詳しくは、【ランプモジュールの交換】（74ページ）をご覧ください。
- レンズキャップ（20ページ）を外してあるか確認してください。また、プロジェクタの主電源がオンになっているか確認してください。

・画面が一部しか表示されない
・スクロールしてしまう
・正しく表示されない　など

- リモコンをプロジェクタ本体に向けて、リシンクボタンを押してください。
- パソコンでご使用の場合は、解像度を1024×768以下に変更してください。
- ノートパソコンでご使用の場合は、解像度を1024×768以下に変更し、ノートパソコンの設定で、ディスプレイを「外部モニタのみ」もしくは「CRTのみ」の設定にしてください。
- 解像度の変更が困難だったり、ハングアップが発生した場合は、すべての機器とプロジェクタを再起動させてください。

ノートパソコンを接続すると、ノートパソコンの液晶画面がでない

- ノートパソコンの場合、本製品のような外部の出力装置を接続すると、ノートパソコンの液晶画面が自動的にオフになるものがあります。ノートパソコンの取扱説明書をご覧になり、液晶画面と、外部の出力装置の両方に映像がでるように設定してください。
- PowerBookの場合は、[コントロールパネル]から[PowerBookディスプレイ]を開き、[ビデオモニター]を[オン]にしてください。

画面が不安定、またはちらつく

- 「調整/設定メニュー」で「トラッキング」を調整してください。（32ページ）
- モニターカラー設定をパソコンから変更してください。

画面に縦のちらつき線がでる

- 「調整/設定メニュー」で「周波数」を調整してください。（32ページ）

画面のフォーカスが合わない

- フォーカスリングで調整してください。（28ページ）
- スクリーンとプロジェクタ間の距離をご確認ください。スクリーンとプロジェクタ間の距離が1m以内、または12.4m以上の場合、うまくフォーカスを合わせることはできません。

パソコンで使用時に、解像度を変更したら、画面が乱れた（何も表示されなくなった）

● 本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）を設定された為と思われます。すぐに「ESC」キーを押してください。
それでも改善されない場合は、以下の方法にて設定を変更してください。

※ Windows NT 4.0の場合は、起動時に「VGA MODE」を選択し、③からの操作を行ってください。

① Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。
押し続けないでください。

② 起動メニューが表示しますので、Windows XP の場合は[セーフモード]→[Microsoft Windows XP Professional]もしくは[Microsoft Windows XP Home Edition]を選択します。(Windows XP 以外の場合は[3.SafeMode]を選択します。)

③ セーフモードでWindowsが起動しますので、デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし[プロパティ]をクリックします。

④ [画面のプロパティ]が起動しますので、[設定]タブをクリックし、（Windows 95は、[詳細]タブ）解像度を640×480もしくは800×600に指定します。
変更できない状態なら、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

⑤ Windowsを再起動します。

⑥ 再起動後、再度画面のプロパティより、画面の解像度を設定してください。設定後には必ず[適用]ボタンをクリックしてください。
【解像度/周波数対応表】（80ページ）をご覧になり、表示可能な解像度に設定してください。
（万が一対応外の解像度が選択された場合でも、「ESC」キーを押せば元の解像度に復帰できます。）

ランプが焼ききれる、または小さな音がする

ランプの寿命が近づくと、焼ききれたり破裂音をさせたりすることがあります。このような場合は、そのランプはもう使用できませんので、交換してください。ランプモジュールの交換は【ランプモジュールの交換】（次ページ）をご覧ください。

ビデオテープを再生したが、正しく表示されない

劣化したビデオテープの場合、正しく表示できない場合があります。新しいものがあれば、それを試してみてください。

ランプモジュールの交換

プロジェクタは自動的にランプの寿命を検知し、ランプの寿命が少なくなると、警告メッセージを表示します。この場合は、すぐにランプモジュールを交換してください。
１時間ほど放置し、余熱が取れてからランプモジュールを交換してください。

交換用のランプモジュール「PJ-20LMP」を別途お求めください。
弊社指定以外のものはご使用いただけません。



注意！

- **ご使用直後はランプ部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。やけどの恐れがあります。**
- **ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が取れてから行ってください。**
- **ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。**
- **ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。**
- **ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。**

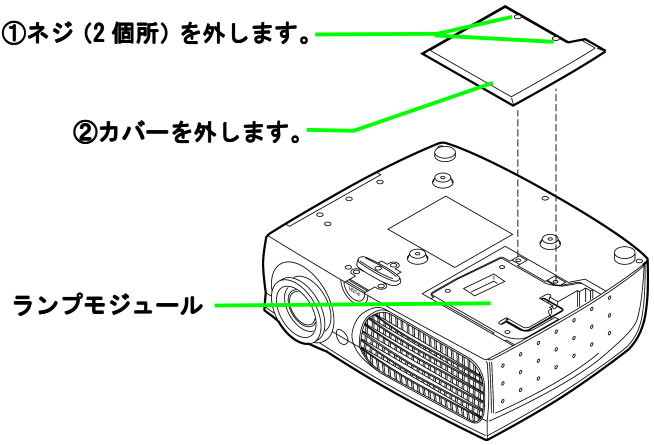
1 **プロジェクタの電源を切ります。**
「主電源」もオフにします。

2 **１時間程度放置し、余熱を取ります。**

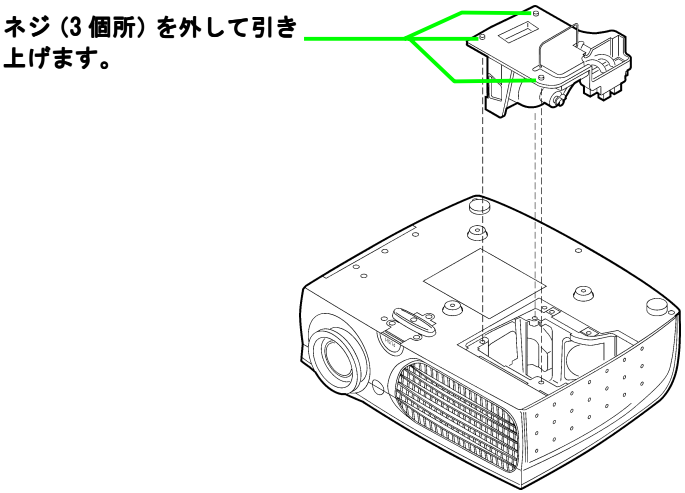
3 **プロジェクタに接続されているすべてのケーブルを外します。**

4 **プロジェクタを裏返しにします。**
やわらかい布などを敷いて傷がつかないようにしてください。

5 ドライバーでカバーのネジ（2個所）を取り外し、カバーを取り外します。



6 ドライバーでランプモジュール（3個所）のネジを取り外し、ランプモジュールを引き上げます。



7 **以上の手順を逆から行い、新しいランプモジュールを取り付けます。**



注意！

- **手順 5 のカバーを取り外した状態では、プロジェクタの電源はオンになりません。ご利用時には必ずカバーを取り付けてください。**
- **ランプモジュール交換後は、【調整/設定メニューの操作方法】（29 ページ）の手順を参考に、「調整/設定メニュー」の[プロジェクション設定]タブ（37 ページ）→[ランプリセット]を行ってください。**

リモコンに電池をセット

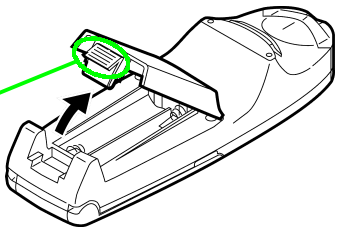
リモコンは、効きが悪くなったら乾電池（単4型2個）を別途用意し、交換してください。なお、添付の乾電池は動作確認用のものです。確認後は新しいものと交換してください。

注意！

- **乾電池単４型のものを２個ご用意ください。**
- **電池には、極性があります。＋極と－極の向きに注意してセットしてください。**
- **電池を交換してもリモコンが使えない場合は、極性が間違っている可能性があります。極性を確認してください。**

1 **カバーを外します。**

ここを押しながら外します。

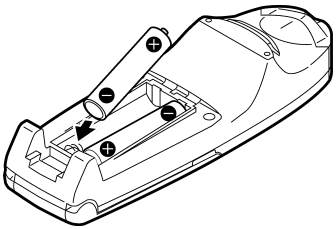


2 **古い電池が入っている場合は取り出し、新しい電池をセットします。**

極性に注意してセットしてください。

バネのある方が－極です。電池の突起のない方がこちらにくるようにセットします。

2本とも同時に交換してください。



3 **1 で外したカバーを取り付けます。**

用語解説

リシンク

表示している解像度のパラメータを再調整することをいいます。

DLP™(Digital Light Processing)

米TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY社が開発したデジタルライトプロセシングと呼ばれる新しい映像技術で、DMD（デジタルマイクロミラーデバイス）という光半導体を中心にして開発されました。

OSD(On Screen Display)

画面の一部に設定値を表示しながら、設定が可能な画面の機能。本製品では、「調整/設定メニュー」をこの方法で表示しています。

ANSI ルーメン

ANSI（American National Standards Institute）が定めたプロジェクタの明るさを表す単位（光束の単位）です。

ハードウェア仕様

● 本体仕様

投写方式	シングルチップDLP™テクノロジー
コントラスト	600:1
輝度	2000ANSIルーメン
ビデオ対応信号	NTSC/PAL
解像度	1024×768
投写レンズF	2.44～2.69
f（mm）	28.8～34.5
ランプ（光源出力）	200W P-VIPランプ
ズーム方式/方法	光学/手動
倍率	1.2（最大）
フォーカス方式	手動
映像入力端子	DVI-I、アナログRGB、 コンポジットビデオ、 Sビデオ
映像出力端子	アナログRGB
音声入力端子	ステレオミニジャック×3
音声出力端子	ステレオミニジャック×1
制御入力端子	リモートマウス用8ピン
スピーカ	2W×2
外形寸法(W×D×H)	277×225×85
質量	2.9ｋｇ
使用温度条件 動作時	5℃～35℃
使用温度条件 収納時	-20℃～60℃
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）
定格電圧	AC100V
消費電力	最大：350W
盗難防止用ホール	○

● 解像度/周波数対応表

パソコンを投影する際にご参考ください。

		表示モード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	アナログ	デジタル
	Windows	720×400	31.5	70.1	○	○
Power Macintoshシリーズ	Windows	640×480	31.5	59.9	○	○
			37.9	72.8	○	○
			37.5	75.0	○	○
			43.3	85.0	○	○
		800×600	35.2	56.3	○	○
			37.9	60.3	○	○
			46.9	75.0	○	○
			48.1	72.2	○	○
			53.7	85.1	○	○
		1024×768	48.4	60.0	○	○
			56.5	70.1	○	○
			60.0	75.0	○	○
			68.7	85.0	○	—
		1280×1024	64.0	60.0	○※	—
			80.0	75.0	○※	—
		640×480	35.0	66.7	○	—
		832×624	49.7	74.5	○	—
		1024×768	60.2	74.9	○	—
		1152×870	68.7	75.1	○※	—

※ ダウンスケーリング（縮小表示）で表示します。



注意！

- **パソコンからの信号は全てノンインタレースである必要があります。**
- **Power Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になる場合があります。**
- **表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。**
- **コンポジットシンク及びシンクオングリーンには対応していません。**

お問い合わせ先

サポートセンター

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
6. 現在の状態(「デバイスマネージャに本製品が表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　http://www.iodata.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「PJ-20XGA」係　宛

電話・FAX

電話番号	本社　076-260-3646　東京　03-3254-1036
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

サポートライブラリ　　http://www.iodata.jp/lib/

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PJ-20XGA」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間はお買い上げの日より１年間です。保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル NO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

PJ-20XGA 取扱説明書
2002.Mar.27　105724-02
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。